

概要報告

期 日：平成 22 年 10 月 20 日（水）・21 日（木）・22 日（金）
会 場：東京都千代田区永田町 1-1-1 憲政記念館（歓迎交流会）
東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 研究所（代表者会議）
主 催：財団法人海外日系人協会
後 援：外務省、独立行政法人国際協力機構、独立行政法人国際交流基金、全国知事会、東京都、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）、日本政府観光局、日本経済団体連合会、日本商工会議所、海外日系新聞放送協会
参加国：24 カ国 163 名

第 51 回海外日系人大会は、平成 22 年（2010 年）10 月 20 日、21 日、22 日の 3 日間、東京都千代田区憲政記念館及び東京都新宿区 JICA 研究所において開催された。参加者は、北・中南米、アジア、ヨーロッパの 24 カ国から 163 名となった。

1 日目は、憲政記念館（会議室 1～3）にて、常陸宮同妃両殿下ご臨席のもと、歓迎交流会が盛大に開催された。

2 日目の代表者会議には、海外日系団体の代表者らが集まり「日系人の生きる道－海外日系社会のさらなる発展を目指して」を総合テーマに、「日本語教育と日本文化」「在日日系人」「日系ユース」「重国籍・在外選挙・年金」の 4 つの分科会に分かれてそれぞれ討議を行った。討議の結果は、「第 51 回海外日系人大会 大会宣言」としてとりまとめられた。また、2 日目には、代表者会議に参加しない大会参加者のために「オフィシャル・ツアー」を実施。相撲部屋や東京スカイツリーの見学等、東京見物を楽しんだ。

3 日目は、憲政記念館で全体会議が行われ、第 7 回海外日系文芸祭授賞式に加え、初の試みとなる「在日日系人こども発表会」が行なわれた。前日の代表者会議で採択された「第 51 回海外日系人大会 大会宣言」が発表された。

大会期間中、参加者は、外務大臣の招待によるレセプション、衆参両議院議長主催による歓迎昼食会等に出席し、多数の国会議員、外交団、政府高官等と交歓した。

大会第1日目 [10月20日 (水)]

● 運 営 会 議 ●

午後2時から4時まで、衆議院第二議員会館第4会議室において日系団体代表者、海外日系人協会役員の参加を得て「運営会議」を開催した。この会議は、海外日系人協会と日系社会との連携をさらに密にするため、海外日系人協会の運営に関し、広く日系社会の意見を求めることを目的に実施しているもの。

会議は、岡野護海外日系人協会事務局長の司会で行われ、田中理事長が、海外日系人協会の運営の現状と課題について説明し、①協会に何を期待するか、②海外日系人大会の在り方、③海外日系団体といかに連携していくべきか、について指導を賜りたい旨述べた。続いて河村建夫理事が、海外から見た日本を国作りに生かしていきたい。日系人協会が海外日系人との橋渡しをして欲しい旨の挨拶を述べた。参加者である各国各団体代表者らが自己紹介を行い、参加者からは、「次世代へのバトンタッチを手伝いたい」「20代30代のヨコの繋がりは活発であり、自分たちはタテの（日本との）繋がりを強化したい」「大会報告書を有効に配布し大会の存在を積極的に広報すべき」「日本語だけでは参加者は少なくなる。多言語化について検討して欲しい」等の意見が出た。

● 歓 迎 交 流 会 ●

午後5時30分より、憲政記念館（会議室1～3）にて海外日系人協会主催の歓迎交流会を開催した。

常陸宮同妃両殿下のご臨席を賜って行われた歓迎交流会では、麻生渡会長が主催者代表の挨拶を行い、続いて伴野豊外務副大臣の挨拶、参加者を代表してブラジル日本都道府県人会連合会の与儀昭雄会長が乾杯の発声を行った。その後、常陸宮同妃両殿下は、参加者多数と親しくご歓談された。

6時10分に両殿下がご退席された後は、参加者および国会議員多数を含む国内招待者あわせて約300名が交流を深めた。

大会第2日目 [10月21日 (木)]

● プログラム1・代表者会議 ●

午前9時30分より、JICA 研究所国際会議場において、代表者会議を開催した。参加者は海外・国内合わせて約190名であった。

会議のはじめに、海外日系人協会田中理事長が主催者挨拶を述べ、続いて外務省より鈴木光太郎領事局政策課長、厚生労働省職業安定局より野口尚外国人雇用対策課長、JICA より小林正博中南米部長がそれぞれ挨拶した。

その後、主催者より「国際日系ネット」の概要についての説明およびスケジュール説明を行った後、以下4つの分科会に分かれて討議を行った。

第1分科会：日本語教育と日本文化（議長 富田いくこ・ハワイ）

第2分科会：在日日系人（議長 松本アルベルト・アルゼンチン）

第3分科会：日系ユース（議長 福島エリ オデット・日本財団日系スカラシップ）

第4分科会：重国籍・在外選挙・年金（議長 二宮正人 ブラジル）

それぞれの分科会において、ゲスト・スピーカーらの発表の後自由な討議を行い、各分科会の議長が進行を取りまとめた。

会議で討議された内容は、議長団によってとりまとめられ、「大会宣言」として採択された。

● プログラム2・オフィシャル・ツアー ●

代表者会議に参加しない海外参加者のためにオフィシャル・ツアーを実施した。27名が参加し、大相撲の朝日山部屋、建設中の東京スカイツリー、深川の富岡八幡宮、靖国神社を訪れた。

● 外務大臣主催レセプション ●

午後6時30分より、外務省飯倉公館で外務大臣主催の歓迎レセプションが開かれた。前原誠司外務大臣が歓迎の挨拶をし、参加者を代表して北加日米会会長の岡田幹夫氏（アメリカ）が謝辞を述べた。前原外務大臣は参加者と親しく歓談し、握手や写真撮影等に応じた。また、参加者は、国会議員や参加国関係外交団らと交流した。

大会第3日目 [10月22日 (金)]

● 全体会議 ●

午前10時より、憲政記念館講堂において、「第7回海外日系文芸祭授賞式」が開催された。1,562作品（短歌・俳句および一般・学生全ての総数）の応募があり、今回は「大賞」は該当なしとなったが、海外日系新聞放送協会会長賞、海外日系人協会理事長賞他、上位入選者が表彰された。

文芸祭授賞式に引き続いて10時半からは、大会史上初の試みとなる「在日日系人子ども発表会」を開催した。これは、在日ブラジル人学校をはじめとするニューカマーの外国人学校に通う日系人児童・生徒に、日本での将来に希望を持ってもらい、さらに世界中で活躍する日系人としてのアイデンティティに誇りと自覚を持ってもらうために、世界の日系人が集まる「海外日系人大会」において、自分たちの学校について発表する機会を与え、合わせて将来の夢を語ってもらおうという主旨のもと企画された。今回は群馬県大泉町にあるブラジル学校、日伯学園より4人の日系子弟を招待し、日本語による学校紹介、および「わたしのゆめ、わたしのみらい」をテーマにした作文を発表してもらった。

発表者は次のとおり。

「わたしたちの日伯学園」（学校紹介）

校長 戸澤江梨香

9年 齊藤理香 Bruna Lika Abematsu Saito

小学校代表

6年 村上ガブリエル Gabriel Murakami Alves

中学校代表

9年 仲宗根さなえ Patricia Sanae Inomori Nakasone

高校生代表

1年 安里嗣明 Ricardo Tsuguiaki Asato

その後、大会2日目の代表者会議で取りまとめられた「大会宣言」を、大会参加者を代表してブラジルの二宮正人氏が発表した。

● 衆参両議院議長昼食会 ●

全体会議の後、会場を憲政記念館会議室（1～3）に移して、衆参両議院議長主催の歓迎昼食会が開催された。歓迎昼食会では、衆参両院を代表して横路孝弘衆議院議長が挨拶し、西岡武夫参議院議長が乾杯の発声を行った。参加者を代表してメキシコ、日墨協会の菅原穰治会長が答辞を述べた。

昼食会には、衆議院より、横路議長をはじめ、衛藤征四郎副議長、川端達夫、松野頼久、山井和則、三谷光男、横山北斗、菅義偉、遠藤乙彦、高山智司、服部良一、大島敦、河村建夫、参議院より西岡武夫議長、尾辻秀久副議長、加藤敏幸、水岡俊一、西田実仁、水野賢一、白真勲、井上哲士、猪口邦子、寺田典城（以上敬称略）の各議員が出席し、参加者と懇談した。

以上で、第51回海外日系人大会は3日間の公式スケジュールを全て終了した。